

# 豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～よりよい子育て支援施策の推進のため、あなたの声をお聞かせください～

豊橋市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て応援プランを2015年度（2015年度～2019年度）に策定しました。

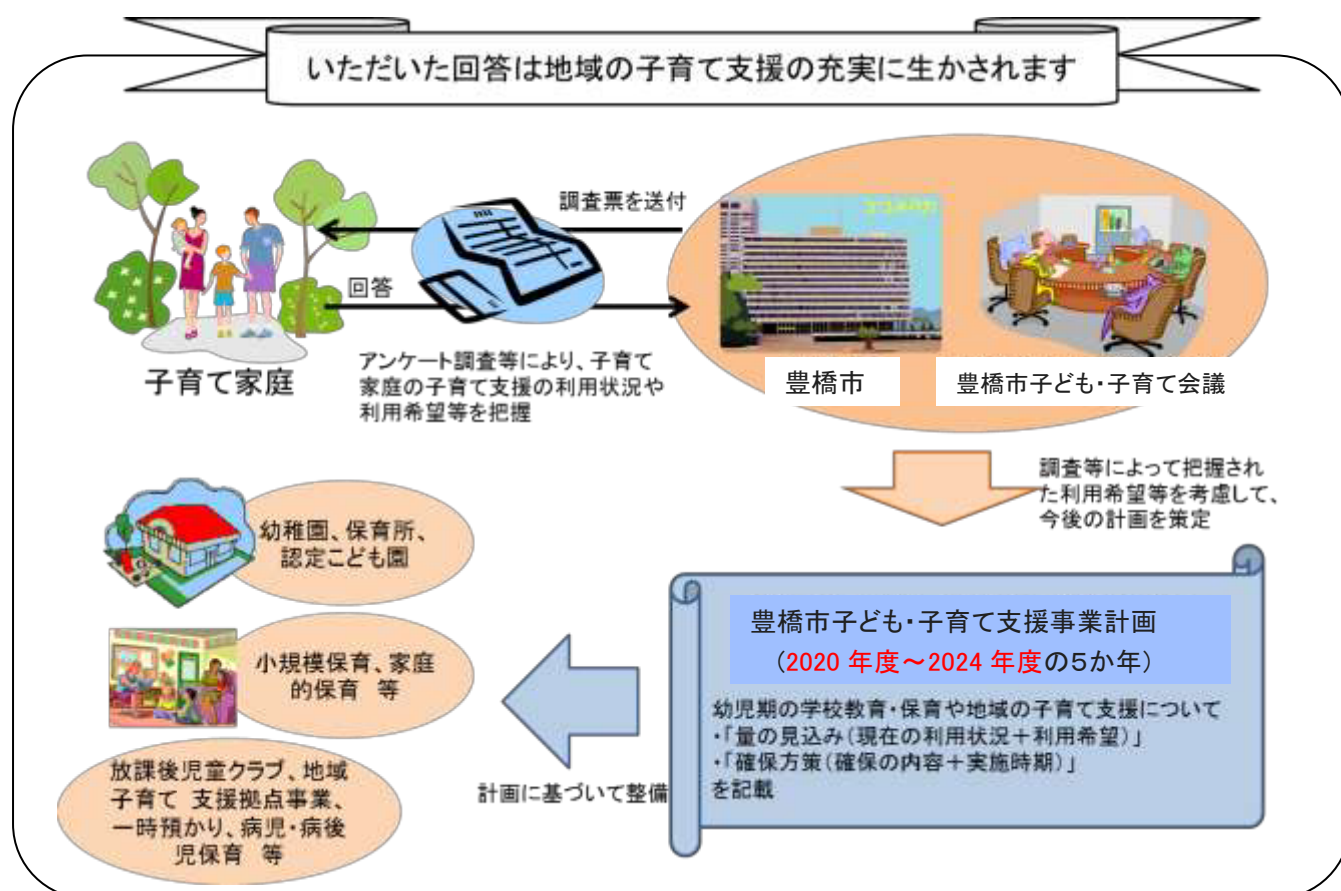
この計画の改定を2020年度に実施するため、必要な教育・保育・子育て支援の提供体制を確保するための「量の見込み」を算出し、また、子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、「豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施することになりました。

なお、この調査は、2018年4月1日現在の住民基本台帳から0歳～小学校6年生までのお子さんのいるご家庭のうち、無作為に10,000世帯を選び、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、個人を特定したり、他の目的に利用することは一切ございません。

よりよい計画を作成するためには多くの皆さまから回答をいただくことが何より重要です。ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

2018年10月

豊橋市長 佐原 光一



10月31日（水）までに封筒に入れて各園へ提出してください。

<この調査に関する問合せ先>

豊橋市こども未来部こども未来政策課 電話 51-2325（直通）月～金曜日（祝日を除く）8：30～17：15

## 子ども・子育て支援新制度の考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

### 【この調査票における用語の定義】

- ・ 幼稚園：3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問9までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問10以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

### ～ご記入にあたってのお願い～

1. アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
2. ご回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。**
3. 選択肢の場合、**お選びいただく数が設問によって異なります**ので注意書きに従ってください。また、「**その他**」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に**具体的な内容**をご記入ください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、**調査票が入っていた封筒に戻し、封をして10月31日（水）までに各園へ提出してください。**
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、**ことわり書きや矢印**に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、**表紙の問合せ先**までお願いします。

# Ⅰ ご家庭の環境について

## 封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区を記入してください。分からない場合は、お住まいの町名を記入してください。

(                    ) 小学校区 → 校区が分からない場合は町名 (                    )

問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。〔    〕内に数字で記入してください。

平成〔         〕年〔         〕月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、生計を一にする世帯人数は何人ですか。そのうち、お子さんの人数は何人ですか。〔    〕内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、あて名のお子さんが何番目のお子さんか、また、最も年下の子の生年月も記入してください。

世帯人数〔         〕人  
うち  
お子さんの数〔         〕人

お子さんが  
2人以上の方  
⇒

あて名のお子さんは〔         〕番目  
最も年下の子は 平成〔         〕年〔         〕月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親                                      2. 父親                                      3. その他 (                                      )

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる    2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに      2. 主に母親      3. 主に父親      4. 主に祖父母      5. その他 (                                      )

問7 あなたの世帯全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナスを含む手取り額）」を教えてください。

1. 収入はない      2. 250万円未満      3. 250～350万円未満      4. 350～500万円未満  
5. 500～700万円未満      6. 700～1,000万円未満      7. 1,000万円以上

## 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる祖父母等の親族や知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |                |
|--|----------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる<br>2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる<br>3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる<br>4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる<br>5. いずれもない ⇒ <b>問9へ</b> | ⇒ <b>問8-1へ</b> |
|--|----------------|

問 8-1 問8で「1.～4.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみてもらう時の心配や不安について、それぞれ当てはまる番号すべてに○を記入してください。

(1) 祖父母等の親族にみてもらうと答えた方	(2) 友人・知人にみてもらうと答えた方
1. 特に心配や不安はない	1. 特に心配や不安はない
2. 預ける方の身体的負担が大きく心配である	2. 預ける方の身体的負担が大きく心配である
3. 預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	3. 預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )	6. その他 ( )

## あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。「1.」～「6.」のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、⇒の設問がある場合には、それについてもお答えください。〔 〕内には、平均的な労働日数や時間を数字で記入してください。  
 ※短時間勤務制度を利用されている方は、制度取得前の勤務時間でお答えください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない				
2. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である				
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない				
⇒1週あたり〔            〕日    1日あたり〔            〕時間 ⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号 <u>1つに</u> ○をつけてください。				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3. パート・アルバイト等の就労を続けたい</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい</td> </tr> </table>	1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある	2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない	3. パート・アルバイト等の就労を続けたい	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある				
2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない				
3. パート・アルバイト等の就労を続けたい				
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい				

4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中である

⇒産休・育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間

⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けたい
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

(1) -1 (1)で「1. ~ 4.」に○をつけた方にうかがいます。 母親が家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※お子さんの送迎や習い事、買物などの時間は含まず、出勤～勤務～帰宅の時間でお答えください。

※時間は24時間制で記入ください。

家を出る時刻 〔 〕時〔 〕分 帰宅時刻 〔 〕時〔 〕分

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない

2. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中である

3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない

⇒1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間

⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けたい
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、育休・介護休業中である

⇒育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間

⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けたい
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

- (2)-1 問9(2)で「1.～4.」に○をつけた方にうかがいます。父親が家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
- ※お子さんの送迎や習い事、買物などの時間は含まず、出勤～勤務～帰宅の時間でお答えください。
- ※時間は24時間制で記入ください。

家を出る時刻   〔   〕時〔   〕分		帰宅時刻   〔   〕時〔   〕分
-----------------------	--	---------------------

問9(1)(2)で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方にうかがいます。⇒該当しない方は、p.7 問10へ

問9-1 就労したいという希望はありますか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。〔   〕内には数字を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 就労せず、子育てや家事などに専念したい 2. 1年より先、一番下の子どもが〔   〕歳になったところに就労したい 3. すぐにでも就労したい 4. 1年以内に就労したい <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">} </div>	1. 就労せず、子育てや家事などに専念したい 2. 1年より先、一番下の子どもが〔   〕歳になったところに就労したい 3. すぐにでも就労したい 4. 1年以内に就労したい <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">} </div>
3. 4. の場合、希望する就労形態について当てはまるものに○をつけてください。 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） ⇒ 1週当たり   〔   〕日 ⇒ 1日あたり   〔   〕時間	3. 4. の場合、希望する就労形態について当てはまるものに○をつけてください。 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） ⇒ 1週当たり   〔   〕日 ⇒ 1日あたり   〔   〕時間

問9-2 問9-1で「3. すぐにでも就労したい」と回答した方にうかがいます。就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 保育サービスが利用できない 2. 育児と両立できる仕事がない 3. 就労への家族の理解がない 4. やりたい仕事が見つからない 5. 健康上の理由 6. 現在妊娠中である 7. その他（                    ）	1. 保育サービスが利用できない 2. 育児と両立できる仕事がない 3. 就労への家族の理解がない 4. やりたい仕事が見つからない 5. 健康上の理由 6. その他（                    ）





問 11-3 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方が病気や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ ）

問 11 で、「2. 利用していない」と答えた方にうかがいます。

問 11-4 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。〔 〕内には数字を記入してください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため ⇒〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（ ）

## あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業※の利用希望についてうかがいます。

※「教育・保育事業」…幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業。親族・知人による預かりは含みません。

問 12 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用が必要ですか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。必要がある場合は、利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。

### (1) 土曜日

1. 利用する必要はない（父母のいずれかもしくは双方が家庭で保育できる）
  2. ほぼ毎週利用が必要
  3. 月に1～2回は利用が必要
- } ⇒ 利用したい時間帯  
〔 〕時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入

### (2) 日曜日・祝日 ※これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

1. 利用する必要はない（父母のいずれかもしくは双方が家庭で保育できる）
  2. ほぼ毎週利用が必要
  3. 月に1～2回は利用が必要
- } ⇒ 利用したい時間帯  
〔 〕時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入

問 13 「幼稚園」を利用している方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

1. 利用する必要はない
  2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
  3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- } ⇒ 利用したい時間帯  
〔 〕時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入



**(平日の教育・保育を利用する方のみ)**  
**あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。**

⇒平日の定期的な教育・保育事業を利用していない方(問11で2.に○をつけた方)は p.10 問15へ

問 14 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方(問 11 で 1 に○をつけた方)にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問 14-1 へ                      2. なかった ⇒ p.10 問 15 へ

問 14 で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	年間〔 〕日	⇒問 14-2 へ
イ. 母親が休んだ	年間〔 〕日	
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	年間〔 〕日	⇒p.10 問 15 へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間〔 〕日	
オ. 病児(病後児)保育を利用した	年間〔 〕日	
カ. ベビーシッターを利用した	年間〔 〕日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間〔 〕日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕日	
ケ. その他( )	年間〔 〕日	

問 14-1 で、「ア。」または「イ。」と答えた方にうかがいます。

問 14-2 その際、「できれば病児(病後児)保育を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。次に、⇒の設問についてもお答えください。なお、病児(病後児)保育の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 病児(病後児)保育を利用したいと思った

⇒利用したい日数 年間〔 〕日

⇒利用する場合、いずれの事業形態が望ましいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. 家に来てもらい預かる事業
5. その他( )

2. 利用したいとは思わなかった

⇒その理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の病児(病後児)保育事業の質に不安がある
3. 利用可能時間、日数などが利用しにくい
4. 近くにないため利用しにくい(⇒施設まで〔 〕分くらいなら利用したい)
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 親が仕事を休んで対応する
8. その他( )

## あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業等の利用についてうかがいます。

問 15 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も〔 〕内に数字で記入してください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり（一時保育） （私用など理由を問わずに保育所等で一時的に子どもを保育する事業）	年間〔 〕日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	年間〔 〕日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	年間〔 〕日
4. 子育て支援トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間に子どもを預かる事業）	年間〔 〕日
5. 認可外保育施設・託児所	年間〔 〕日
6. ベビーシッター	年間〔 〕日
7. その他（ ）	年間〔 〕日
8. 利用していない 上記1～7の事業のうち、今後利用してみたい事業番号（ ） 利用しなかった・できなかった理由（ ）	

問 16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 15 の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を〔 〕内に数字で記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を〔 〕内に数字で記入してください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		年間〔 〕日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等		年間〔 〕日
ウ. 不定期の就労		年間〔 〕日
エ. その他（ ）		年間〔 〕日
2. 利用する必要はない		/

問 17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください。

1年間の対処方法		泊数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	年間〔 〕泊
	イ. 子育て支援ショートステイを利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	年間〔 〕泊
	ウ. 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	年間〔 〕泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	年間〔 〕泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕泊
	カ. その他（ ）	年間〔 〕泊
2. なかった		/

## 小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 18 あて名のお子さんについて、小学生のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。なお、☆印の事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）☆	週〔 〕日くらい
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕☆ ※1	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入
5. 放課後子ども教室 ※2	週〔 〕日くらい
6. ファミリー・サポート・センター ☆	週〔 〕日くらい
7. 放課後等デイサービス ☆ ※3	週〔 〕日くらい
8. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

※1 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。放課後や土曜日、長期休業日など、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合に、支援員の指導により、子どもの遊び及び生活の場を提供するもので、一定の利用料がかかります。

※2 「放課後子ども教室」…豊橋市では、①放課後児童クラブが利用できない校区、②外国籍児童の多い校区で、地域の方々の協力を得て、放課後の時間を過ごす場を提供しています（①は自主学习や遊び、②は外国籍児童を対象とした学習支援）。いずれも保護者の就労の有無は問いませんが、土日祝日や夏休み等の長期休業期間中は利用できません。

※3 「放課後等デイサービス」…障害のある就学児童に対して、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等の支援を行います。

問 18 で「4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方についてうかがいます。

問 19 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 ※24 時間制で記入 〔 〕時から〔 〕時まで
--	-----	-------------------------------------

（2）日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 ※24 時間制で記入 〔 〕時から〔 〕時まで
--	-----	-------------------------------------

問 20 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 ※24 時間制で記入 〔 〕時から〔 〕時まで
--	-----	-------------------------------------

### III 育児休業制度について

#### 育児休業の取得状況についてうかがいます。

問 21 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

※「育児休業制度」…現行の育児・介護休業法（平成22年6月30日施行（一部平成24年7月1日施行））では、従業員は、事業主に申し出ることにより、子の1歳の誕生日の前日まで、原則1回に限り、育児休業を取得することができます。（両親がともに育児休業を取得するなど一定の要件を満たす場合は、原則1歳までから1歳2か月までに育児休業期間を延長できます。また、子が1歳以降、保育所に入れないなど一定の要件を満たす場合は、最大で子が2歳に達するまでの間、育児休業期間を延長できます。）なお、公務員の場合は原則として子が3歳の誕生日の前日まで育児休業を取得できます。

(1) 母親	(2) 父親
1. 働いていなかった ⇒p. 14 問22へ	1. 働いていなかった ⇒p. 14 問22へ
2. 取得した（取得中である）⇒問21-1へ	2. 取得した（取得中である）⇒問21-1へ
3. 取得していない ⇒p. 13 問21-5へ	3. 取得していない ⇒p. 13 問21-5へ

母親と父親のそれぞれについて、指示された設問に進んで回答してください。

問 21-1 問 20 で「2. 取得した（取得中である）」と答えた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号 1つ に○をつけてください。また、職場復帰した方は、希望していた復帰時期と実際の復帰時期を〔 〕内に数字で記入してください。現在育児休業中の方は、現在予定している職場への復帰時期を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒希望：子が〔 〕歳〔 〕か月の時 ⇒実際：子が〔 〕歳〔 〕か月の時	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒希望：子が〔 〕歳〔 〕か月の時 ⇒実際：子が〔 〕歳〔 〕か月の時
2. 現在も育児休業中である ⇒子が〔 〕歳〔 〕か月の時復帰予定 ⇒p. 13 問21-3へ	2. 現在も育児休業中である ⇒子が〔 〕歳〔 〕か月の時復帰予定 ⇒p. 13 問21-3へ
3. 育児休業中に離職した ⇒p. 13 問21-4へ	3. 育児休業中に離職した ⇒p. 13 問21-4へ

問 21-2 問 21-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方のうち、育児休業の取得期間が希望と実際に異なる方にうかがいます。職場復帰の時期が希望と異なる理由について、当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親	②父親
1. 希望する保育所等に入るため	1. 希望する保育所等に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	5. その他（ ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親	②父親
1. 希望する保育所等に入れなかったため	1. 希望する保育所等に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため	5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他（ ）	6. その他（ ）

問 21-3 問 21-1 で「2. 現在も育児休業中である」と答えた方にうかがいます。職場への復帰時期を決める理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 希望する保育所等に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ( )	1. 希望する保育所等に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ( )

問21-4 問21-1で「3. 育児休業中に離職した」と答えた方にうかがいます。育児休業中に離職した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 預けられる保育所等が見つからず、育児休業も延長できなかった 2. 復帰後の職場環境が、仕事と子育ての両立ができる態勢ではなかった 3. 実際に子どもが生まれて、仕事より子育てに専念しようと思った 4. 保護者または子どもの健康上の理由 5. その他 ( )
---

問21-5 問21で「3. 取得していない」と答えた方にうかがいます。育児休業を取得していない理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した 15. 自営業 16. その他 ( )	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 仕事に戻るのが難しそうだった 4. 昇給・昇格などが遅れそうだった 5. 収入減となり、経済的に苦しくなる 6. 保育所などに預けることができた 7. 配偶者が育児休業制度を利用した 8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 9. 子育てや家事に専念するため退職した 10. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 12. 育児休業を取得できることを知らなかった 13. 自営業 14. その他 ( )

## IV 出産や子育てについて

### 出産や子育ての考え方についてうかがいます。

問 22 理想とする子どもの数と、実際にいる（予定している）子どもの数は何人ですか。

1. 理想とする子どもの数	人
2. 実際（予定）の子どもの数 ※今後子どもを産む予定のある方は予定している子どもの数を含む	人

問 22-1 問 22 の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない方にうかがいます。子どもの数が理想より少ない主な理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てや教育にかかる費用が大きい	2. 仕事と育児の両立が難しい
3. 住宅が狭い	4. 子どもを育てるには生活環境が悪い
5. 教育・保育サービスが十分ではない	6. 育児の身体的、精神的負担に耐えられない
7. 子育てよりも自分たちの生活を楽しまたい	8. 配偶者や家族が子どもをあまり好きではない
9. 子育てを手助けしてくれる人がいない	10. 高年齢や健康などの問題で出産が難しい
11. 子どもの将来の環境に不安がある	12. その他（ ）

「幼児教育の無償化※」により、保護者負担利用料が無償化された場合についてうかがいます。

※平成 30 年 6 月 15 日に閣議決定された『経済運営と改革の基本方針 2018』に、「3 歳から 5 歳までの全ての子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園の費用を無償化する。加えて、幼稚園、保育所、認定こども園以外についても、保育の必要性があると認定された子どもを対象として無償化する。0 歳から 2 歳児については、住民税非課税世帯を対象として無償化を進める。」との方針が書かれています。

問 23 「幼児教育の無償化」により、理想とする子どもの数と、予定している子どもの数に変化はありますか。

1. 理想とする子どもの数	人
2. 実際（予定）の子どもの数 ※今後子どもを産む予定のある方は予定している子どもの数を含む	人

問 24 「幼児教育の無償化」により、お子さんの教育・保育施設の利用希望に変化はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※この設問において、認定こども園の利用をお考えの場合は、保育所部分の利用希望は保育所として、幼稚園部分の利用希望は幼稚園としてご回答ください。

- |  |
|--|
| <p>1. すでに、幼稚園を利用しているが、無償化後は保育所を利用したい（幼稚園⇒保育所へ転園する）</p> <p>2. すでに、幼稚園を利用しており、無償化後も継続して利用する（転園しない）</p> <p>3. すでに、保育所を利用しているが、無償化後は幼稚園を利用したい（保育所⇒幼稚園へ転園する。）</p> <p>4. すでに、保育所を利用しており、無償化後も継続して利用する（転園しない）</p> <p>5. 以前より、3 歳以降になったら幼稚園に入園させるつもりであり、無償化後も希望に変化はない</p> <p>6. 以前より、3 歳以降になったら保育所に入園させるつもりであり、無償化後も希望に変化はない</p> <p>7. 以前は、3 歳以降になったら、幼稚園、保育所に入園させるつもりでいたが、無償化になるので 3 歳になる前から保育所に入園させようと思う ⇒ [ ] 歳 [ ] か月から入園を希望</p> <p>8. 以前より、3 歳になる前に保育所に入園させるつもりでいたが、無償化になるので、もっと早い段階で入園させようと思う ⇒ [ ] 歳 [ ] か月から入園を希望</p> <p>9. その他（ ）</p> |
|--|

問 25 男性と女性が一緒に家事・子育て・教育をすることができ、育児をしながら働き続けることができるためには何が必要だと思いますか。母親と父親それぞれの考えについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 夫婦の間で家事・子育て・教育・仕事について十分に話し合う 2. 子どもの頃から家事・子育て・教育における男女の協力や仕事での男女平等について教育を行う 3. 男性も一緒に家事・育児・教育を行うなど働く女性への家族支援や理解の啓発を行う 4. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う 5. 育児に関する施設・サービスを向上する 6. 育児休業制度や短時間勤務、在宅勤務など柔軟な働き方ができる法・制度を充実する 7. 長時間労働の是正などの働き方改革や、女性の雇用、男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけを行う 8. 職場での結婚・出産による退職の慣行を是正する 9. 男性の育児休業取得について啓発を行う 10. その他 ( )	1. 夫婦の間で家事・子育て・教育・仕事について十分に話し合う 2. 子どもの頃から家事・子育て・教育における男女の協力や仕事での男女平等について教育を行う 3. 男性も一緒に家事・育児・教育を行うなど働く女性への家族支援や理解の啓発を行う 4. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う 5. 育児に関する施設・サービスを向上する 6. 育児休業制度や短時間勤務、在宅勤務など柔軟な働き方ができる法・制度を充実する 7. 長時間労働の是正などの働き方改革や、女性の雇用、男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけを行う 8. 職場での結婚・出産による退職の慣行を是正する 9. 男性の育児休業取得について啓発を行う 10. その他 ( )

### 子育てに関する悩みや不安感についてうかがいます。

問 26 子育てに関して、不安などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 子どもの病気や発育・発達に不安がある 3. 子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある 5. 配偶者や身近な人の協力が少ない 7. 子育てにかかる経済的な負担が大きい 9. 子育てと親の介護を同時に行っており、負担が大きい 10. 子育て支援サービスの利用方法等や相談先がよくわからない 11. 住宅が狭い 13. その他 ( ) 14. 不安や負担などは感じない	2. 子どもの食事や栄養に不安がある 4. 子どもの友だちづきあいに不安がある 6. 配偶者や身近な人と意見が合わない 8. 子育ての大変さを身近な人が理解してくれない 12. 近くに子どもの遊び場がない（公園や児童館など）
--	--



問 27 子育てをする上で、母親と父親それぞれの体調やお気持ちなどについてお答えください。①～⑨について1つずつ○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

区 分	(1) 母親			(2) 父親		
	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも
①子育てに不安や負担を感じる	1	2	3	1	2	3
②子育ての方法がよくわからない	1	2	3	1	2	3
③子どもとの接し方に自信が持てない	1	2	3	1	2	3
④子どもとの時間を十分にとれない	1	2	3	1	2	3
⑤自分のやりたいことが十分にできない	1	2	3	1	2	3
⑥何もやる気が起こらないことがある	1	2	3	1	2	3
⑦子育てによる身体の疲れが大きい	1	2	3	1	2	3
⑧子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい	1	2	3	1	2	3
⑨子どもを虐待しているのではないかと思うときがある	1	2	3	1	2	3

問 28 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ <b>問28-1</b> へ 2. いない／ない （理由： _____）
--

問 28-1 問 28 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 配偶者                      2. 祖父母等の親族                      3. 友人や知人                      4. 子育て中の仲間<br>5. 園や学校の先生                      6. 医師・看護師・栄養士                      7. 保健所の保健師・助産師<br>8. 地域の民生・児童委員、主任児童委員                      9. 子育て支援団体                      10. 子育て支援 SNS※<br>11. 地域子育て支援拠点（つどいの広場、子育て支援センターなど）<br>12. 市役所の総合相談窓口等                      13. 児童相談センター<br>14. その他（ _____） |
|--|

※子育て支援 SNS…子育てや子育て支援に関する情報交換を目的とした、インターネット上でのソーシャルネットワークサービス

すべての方にうかがいます。

問 29 市の子育てに関する相談窓口について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。

1. どこに何を相談すればよいかわかりやすい 2. 子どもを連れて気軽に相談できる 3. 相談窓口がどこにあるのかわからない 4. 自分の相談内容にあった相談窓口を紹介してくれるサービスがほしい 5. 相談窓口まで距離が遠く行けないため、身近に相談窓口があるとよい 6. その他（ _____）
--



問 34 豊橋市は子育てをする環境として、現在どのように感じていますか。また、これからの子育て環境を充実させるために何が重要だと思いますか。下記の①～⑳について、「(1) 現在」、「(2) これから」のそれぞれ1つずつに○をつけてください。

区 分	(1) 現在				(2) これから			
	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	重 要 だ と 思 う	思 う え ば 重 要 だ と い え ば 重 要 だ と い え ば 重 要 だ と い え ば 重 要 だ と い	思 わ な い え ば 重 要 だ と い え ば 重 要 だ と い	重 要 だ と 思 わ な い
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
②子どもの教育環境が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦保育所等での多様な保育サービスが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧子育ての相談窓口が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮子どものための医療施設が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯子育てが家族や地域の人に支えられている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑱地域で子育てをする環境が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑳子育て支援に積極的な企業が多い	1	2	3	4	1	2	3	4
㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4

## 個別の子育て支援施策に関することについてうかがいます。

### 各種子育て支援サービスについてうかがいます。

問 35 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑮の事業ごとに、(1)～(3)のそれぞれについて、「1.」か「2.」のいずれかに○をつけてください。なお、①～②は今後お子さんができた場合を想定してお答えください。

サービスや施設の種類	(1) 知っていますか	(2) これまでに利用した ことがありますか	(3) 今後、利用 したいですか
①ババママ教室 医療機関で、新たに親となる人たちの育児に関する勉強会を行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
②産婦・新生児訪問 生後1か月までの赤ちゃん宅に助産師などが家庭訪問します	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
③子育て支援情報ポータルサイト「育なび」 子育てに関する市の情報を、目的や子どもの年齢別などで分かりやすく提供しているホームページです	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
④赤ちゃんの駅 市内のおむつ替えや授乳ができる施設や店舗を赤ちゃんの駅として登録し、紹介しています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑤一時預かり（一時保育） 家庭での保育が一時的に困難な時に保育所等で保育を行います	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑥病児（病後児）保育 保育所等に通う児童が病氣中または病氣回復期に保護者に代わって保育します <span style="color: red;">すこやか診療所、市民病院院内保育所あおたけ、こじかこども園病児保育室の3か所で実施</span>	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑦保育所子育て支援地域活動 いくつかの保育所で、園庭開放による親子交流活動や相談活動、サークルの育成・活動支援などを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑧私立幼稚園地域活動（子育て広場など） いくつかの幼稚園で、園庭開放による親子交流活動や相談活動、サークルの育成・活動支援などを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑨子育て支援ショートステイ 保護者の病氣・出産・冠婚葬祭などによる児童の一時的な預かりを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑩子育て支援トワイライトステイ 保護者が仕事などで平日の夜間（午後4時～10時までの4時間以内）または休日に養育できない時に、児童の一時的な預かりを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑪ファミリー・サポート・センター 子育ての援助をできる地域住民が、保育所等の送迎や子どもの一時的な預かり等を行います	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑫幼児ふれあい教室 地区市民館などで、親と子のふれあいを図るための各種講座を開催しています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑬妊娠・出産・子育て総合相談窓口 保健所・保健センター（ほいっぴ） ママサポーター（保健師・助産師）が、相談や情報提供を行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑭妊娠・出産・子育て総合相談窓口 こども未来館（ここここ） チャイルドサポーター（保健師・保育士）が相談や情報提供を行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない
⑮こども若者総合相談支援センター （ココエール） <span style="color: red;">家庭における児童の諸問題の相談に応じています</span>	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない

※⑤⑥⑨⑩⑪は利用料が必要

**地域における子育て支援についてうかがいます。**

問 36 あて名のお子さんは、現在、下記にあるような地域子育て支援拠点事業（0～3歳の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。

利用している事業・回数	
<b>1. つどいの広場</b> 親子が自由に遊び、情報交換ができる交流の場です。あいトピア、牟呂地域福祉センター、アイプラザ、交通児童館の4か所で、週3日開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
<b>2. 地域子育て支援センター</b> 育児相談や遊びの広場、親同士の交流の場の提供、広報紙の発行、育児サークルの活動支援等を行っています。吉田方子育て支援センター、東山子どもセンター、下条子どもセンターKoko、希望が丘子育て支援センター、こじか子育て支援センターばんびの5か所で、週5日開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
<b>3. こども未来館の「子育てプラザ」</b> 親子が自由に遊び、ふれあい、交流できる場です。子育ての相談や情報提供も行っていきます。こども未来館の1階にあります。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
<b>4. ここにこサークル</b> 親子が集い、遊びや育児情報の交換、仲間づくりができる場。地域のボランティアの先輩ママさんやスタッフが待っています。市民館等で月1～2回開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
<b>5. いずれも利用していない</b>	

問 37 問 36 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。

1. 利用していないが、今後利用したい ⇒1週間当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度								
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい ⇒1週間当たり 更に〔 〕回 もしくは 1か月当たり 更に〔 〕回程度								
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない ⇒利用したいと思わない、利用日数を増やしたいと思わない理由								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%;">1. 利用したいサービスが地域にない</td> <td style="width: 50%;">2. サービスの質に不安</td> </tr> <tr> <td>3. 利便性が悪く利用しづらい（立地・時間・頻度等）</td> <td>4. 時間が無い</td> </tr> <tr> <td>5. 利用方法が分からない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. その他（  ）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1. 利用したいサービスが地域にない	2. サービスの質に不安	3. 利便性が悪く利用しづらい（立地・時間・頻度等）	4. 時間が無い	5. 利用方法が分からない		6. その他（  ）	
1. 利用したいサービスが地域にない	2. サービスの質に不安							
3. 利便性が悪く利用しづらい（立地・時間・頻度等）	4. 時間が無い							
5. 利用方法が分からない								
6. その他（  ）								

**子どもの遊び場や居場所についてうかがいます。**

問 38 家の近くの子どもの遊び場について、日頃どのように感じていますか。下記の①～⑨について当てはまる番号に○をつけてください。

区 分	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない
①近くに遊び場がある	1	2	3
②緑などの自然が多い	1	2	3
③遊具などの種類が充実している	1	2	3
④遊び場は清潔にされている	1	2	3

⑤雨の日の遊べる場所がない	1	2	3
⑥思い切り遊ぶための十分な広さがない	1	2	3
⑦遊び場やその周辺の環境がよくない	1	2	3
⑧その他	( )		

**子どもの権利に関する啓発についてうかがいます。**

問 39 あなたは、子どもの権利に関する国際的な条約がある（日本も加わっている）ことを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っている                      2. 知らない

問 40 あなたは、子どもの権利に関してどう考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 「すべての子どもに等しく子どもの権利がある」ということを、子どもたちにきちんと伝えなければならない
2. 子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや人権の大切さを学ぶべきである
3. まず大人が一人ひとりの「子どもの権利」を知ることが大切である
4. 子どもに権利ばかり教えるとわがままになるので、同時に義務や責任も教えないといけない
5. 義務を果たせない子どもに権利はないと思う
6. その他 ( )

**子育てに関する情報提供についてうかがいます。**

問 41 あなたは普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |   |                  |
|---|------------------|
| 1. 親族（親、兄弟姉妹など）   | 2. 友人・知人         |
| 3. 認定こども園、保育所、幼稚園、学校                                    | 4. 市の広報紙「広報とよはし」 |
| 5. 豊橋子育て情報ハンドブック  | 6. 病院など医療機関      |
| 7. テレビ、ラジオ、新聞   | 8. 子育て雑誌・育児書     |
| 9. WEB サイト（⇒よく使うものは？ 市ホームページ・市子育て支援情報ポータルサイト「育なび」・それ以外） |                  |
| 10. SNS*（⇒よく使うものは？ facebook ・ twitter ・ その他（ ））         |                  |
| 11. コミュニティー誌  | 12. その他（ ）       |
| 13. 情報の入手手段がわからない                                       |                  |

※SNS…情報交換や交流を目的とした、インターネット上でのソーシャルネットワークサービス

問 42 市が提供する子育て情報について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て情報の案内をしてくれる総合窓口があり、分かりやすく提供されている
2. どこに聞けばよいか、または、何を見ればよいか分からない
3. 色々な窓口に分かれていて、個別に聞かないと情報が入手できない
4. その他 ( )

**安心して子育てできる環境についてうかがいます。**

問 43 子育てを取巻く環境について、困ることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 歩道信号がない通りが多く、安全に心配がある
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
4. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない
5. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である
6. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る
7. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ない
8. その他（ ）
9. 特に困ることはない

**防災に対する意識についてうかがいます。**

問 44 近年、日本の各地で地震や豪雨災害等が発生し、大きな被害が出ています。この地域でも南海トラフ地震や洪水、土砂災害、高潮など様々なハザード※の想定がされていますが、子どものいる家庭として、どのような防災対策を行っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※地震や津波、河川の浸水や土砂災害などの災害についての危険性のこと。豊橋市では、こうした災害についての被害予測の結果を地図情報としてまとめたハザードマップをホームページなどで公表しています。

1. 子どものための食料・飲料水の備蓄（乳幼児用、アレルギー対応食品など）
2. 子どものための非常持ち出し品の準備
3. 家具の転倒防止や配置の工夫など、家の中の安全確保
4. 家族で避難場所や緊急連絡先の確認
5. 居住している建物の耐震性の確保
6. ハザード情報に基づいた居住する地域の選定
7. 居住地域の危険箇所等の点検
8. いざという時に子どもの世話をしてくれる人の確保
9. その他（ ）

問 45 防災に関する知識は何から得ることが多いですか？

(1) 母親	(2) 父親
1. 新聞やテレビなどのマスメディア	1. 新聞やテレビなどのマスメディア
2. SNS・ブログなどのソーシャルメディア	2. SNS・ブログなどのソーシャルメディア
3. 雑誌・広報誌など	3. 雑誌・広報誌など
4. 地域の防災訓練・学習会など	4. 地域の防災訓練・学習会など
5. 職場の防災訓練・学習会など	5. 職場の防災訓練・学習会など
6. 友人・知人	6. 友人・知人
7. その他（ ）	7. その他（ ）



**最後に、豊橋市に期待することについてうかがいます。**

問 46 豊橋市の教育・保育環境をさらに充実させる上で、何を期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 保育所、幼稚園、学校の施設を改善する                         | 2. 教師、保育士などの人数を増やす      |
| 3. 教師、保育士などの資質を高める                            | 4. 自然とのふれあいや体験学習の機会を増やす |
| 5. 年齢の異なる子ども同士の交流機会を増やす                       | 6. 国際交流の機会を増やす          |
| 7. お年寄りとの交流・福祉教育を充実させる                        | 8. 保育所や学校等と父母の連携を密にする   |
| 9. 保育方針・学校の教育目標などを公開する                        |                         |
| 10. その他（ <span style="float: right;">）</span> |                         |
| 11. 特に改善する必要はない                               |                         |

問 47 その他、豊橋市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望（子育てで大切なことや問題点など）がありましたら、自由に記入してください。

**大変お疲れ様でした。  
調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
調査票を封筒に戻し、園へご提出ください。**

